



ごあいさつ

理事長 出村 良平

平素より、私ども北海道労働金庫に対して、格別のお引き立てを賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

当金庫は2021年度に創立70周年を迎えさせていただきました。このことは、金庫創立から今日までの長きに渡る、会員、ご利用者の皆様によるご支援の賜物であり、重ねて厚く御礼申し上げます。

この節目となる2021年度においては、「つなぐプロジェクト」による寄付の拡大をはじめ、轟ローンや住宅ローンの金利引下げ、奨学金借換ローンの金利引下げと資金使途の拡充、小・中高生向け金融教育の充実などの記念事業に取組みました。会員、ご利用者の皆様のご理解のもと、金庫創立の原点とともに、将来に向け当金庫が変わらず果たすべき社会的役割について、役職員一同再確認できたものと考えております。

さて、日本経済は、新型コロナウイルス感染症や様々な外的要因などにより、足下ではより不透明感が増しています。そのような中、2021年度は「短期経営計画(2021年度)」を策定し、コロナ禍における勤労者セーフティネット機能の発揮に努めることを最優先とした事業活動に取組み、結果として一段の成長を遂げることができました。会員、ご利用者の皆様の格別なるご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。

また、この2022年度からは、「共生社会の実現」と「健全経営の維持」をコアバリューに据えた、向こう3か年の中期経営計画(2022～2024年度)をスタートさせました。これは、「会員・地域・利用者とのつながりによる『しあわせの循環』の創造」を掲げた長期ビジョン(～2024年度)の集大成を図る取組みとなります。協同組織の福祉金融機関として、当金庫がこれまで会員・推進機構の皆様と共に築き上げてきた事業モデルを礎に、SDGsのテーマでもある「金融包摂」に通ずる長期ビジョンの達成を目指し、会員、ご利用者の皆様のために、役職員が一丸となり全力で事業活動に取組んでまいりますので、引続きご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

結びとなりますが、当金庫の経営方針や事業の状況をご案内するため、ここに「北海道労働金庫ディスクロージャー誌2022」を作成いたしました。多くの皆様にご高覧いただき、当金庫に対するご理解をより一層深めていただければ幸いです。

2022年7月

C O N T E N T S

| | |
|------------------------------------|----|
| ごあいさつ | 1 |
| ろうきんの理念 | |
| ろうきんの理念と基本姿勢 | 2 |
| 創立70周年記念事業 | |
| 創立70周年記念事業の総括 | 4 |
| 北海道ろうきんの概要 | |
| 2021年度業績ハイライト | 6 |
| 中期経営計画(2022～2024年度)の概要 | 8 |
| つなぐプロジェクト for SDGs | 10 |
| 2022年度事業計画 | 11 |
| 2022年度事業計画における リスクアペタイト | 12 |
| 社会的責任と貢献活動 | 13 |
| 2021年度トピックス | 22 |
| 北海道ろうきんの健全性・安全性 | 23 |
| リスク管理体制 | 24 |
| コンプライアンス態勢 | 27 |
| お客様本位の業務運営に関する 取組方針・取組状況 | 30 |
| 業務の適正を確保するための体制・運用 状況(内部統制システム) | 32 |
| 営業のご案内 | |
| 預金商品・資産運用商品のご案内 | 34 |
| 融資商品等のご案内 | 36 |
| 各種サービス・業務のご案内 | 38 |
| 主な手数料一覧 | 40 |
| プロフィール | |
| 北海道ろうきんの組織 | 42 |
| あゆみ | 43 |
| ネットワーク | |
| 北海道ろうきん店舗・自動機一覧 | 44 |
| 財務データ | |
| 財務諸表 | 46 |
| 資産内容の開示 | 52 |
| 経営指標 | 55 |
| 預金に関する指標 | 56 |
| 貸出金等に関する指標 | 57 |
| 有価証券に関する指標 | 58 |
| その他業務 | 59 |
| 出資金・ 常勤役職員一人当たり一店舗当たり預金・貸出金 | 60 |
| 連結情報 | 61 |
| 自己資本の充実の状況 | 67 |
| 索引 | |
| 開示項目一覧 | 77 |